

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スペースゆう						公表日	令和 7 年 3 月 1 日		
利用児童数								24 名	回収数	23 名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23				勉強と運動の部屋が分かれていて、大変よい環境である。	学習・運動特化スペース、あそびと作業に目的分けしたプレイルーム等、あそびに学びに十分なスペースがある。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23				スタッフが足りないと感じたことはなく、寧ろいつもにぎやかで大人の目が多い印象。	年間を通して、加配加算が得られる人数と経験豊富なスタッフを配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2		3	施設長に聞いて、構造化し過ぎていない意図はなるほど大変感心した。	「必要な情報が必要なときに必要な量」と意図的に整えている。バリアフリーは今後の必要に応じて設置可。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23				建物は古いですが、心地よく過ごせる。味がある。部屋の名前や理由など、子どもの目線になっている。	子どもたちが安心して気持ちよく過ごせるように、毎日消毒などの衛生面を重視した清掃を行っている。		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1			大変経験豊富で詳しいスタッフさんが多い。安心して任せられる。	子どもと関わる現場を経験した在职5年以上職員が多数。また、目的を持った専門研修を積極的に受講している。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1		今年度中に初めて支援プログラムを公表することになっている。できる限り相違がないように計画している。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23				個別支援計画はすごく分かりやすく、支援の見通しが立ちやすい。	在職員の半数が児発管を取得しているのので、様々な視点で十分な分析・計画が為されるように工夫している。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1	1	1	子どものこと、家族のこと、学校や就労のこと、いろいろな角度からうちの子に目が向けられているのがわかる。わかりやすい言葉を使ってくれている。	5領域に関連した課題設定をしつつ、それぞれの支援に繋がる「環」ができるように設定するよう心がけている。		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1		1	次のモニタリングが楽しみなくらい、その計画通りにアプローチしてくれているのがわかるのでありがたい。	課題を輪切りにしたスモールステップでの設定もあるので、保護者が混乱しないよう丁寧な説明を心がけている。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2		1	長期休みの公園や季節の制作など毎回工夫してくれている。	不変と可変のメリハリを意識した活動、新規探索や文化体験など、全員が学びとなる活動プランを日々策定している。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	5	1	6	法人内の兄弟施設との交流はある。ゆうのスタッフならうまく一緒に遊べる気がするのでそんな機会があれば。	交友活動として、みなかみのスペースあいで交流している。また、土曜が多いが児童館も利用。		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					契約や変更があった後のモニタリングの際に、疑問が残らないように今後も説明をしていきたい。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23				モニタリングのときに必ず見ながら説明してくれる。	個別支援計画を作成した際、必ず書面に沿ってビジョンを説明し、支援が一連の道になるように意識している。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	13	1	6	コロナ前はあったので今後計画されると期待している。貴重な交流だったのでまたやってほしい。実演コンテンツも。	感染症流行前はグループ研修を行っていたが、最近は親の会で講義のスタイル。今年は復活させる予定。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1			気になる行動は共有してくれる。こちらの声を否定せずに聞いてくれるので話しやすい。豊富な知識だと思う。	「送迎時も大事な家族支援時間」という想いの下、些細な気づきを大切にしている。学校送迎も同様。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1			定期的なのはモニタリングだけだが、随時スタッフはアドバイスをくれる。面談を希望したらすぐこなえてくれた。	モニタリングだけでなく、必要に応じて個別面談や家族支援、サービス記録などでも支援を行っている。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23					子どもの改善すべき方法をいつも考えてくれている。	場が変われば子どもの様子も変わる。様々な状況を想定しながら支援をするように心がけている。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	6	3	6	保護者間同士の交流はコロナ前はあった。ただの座談会でなくて、保護者やスタッフも交えて1つのテーマについて話し合えたのは楽しかった。保護者と会う機会がないのでやってほしい。	現在は3か所の親の会での支援がベースだが、ゆう主催の保護者会を開催予定。きょうだい向けイベントは検討案件。		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		1	相談したいことを伝えたとき、うちだけルートにしてくれたので話しやすかった。面談希望が出せることを知らなかったため、早くお願いすればよかった。	相談や質問等（家族支援）は窓口を統一し、ご希望の職員との面談ができるように体制を整えている。		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1		1	子どもが直接親に言いにくいことを、上手に誘導して教えてくれるのでありがたい。	ベースであるサービス記録は子どもも確認できるので、内容を加味してLINEや対面での連絡など工夫している。		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2		1	ブログ毎回楽しみにしている。長期休みは子どもより、親が参加したくなるくらい楽しそう。	HPでの評価結果、グループLINE（施設長・各リーダー含）での長期休みや緊急・周知連絡を行っている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	3		1		まだ不十分なところがあるかもしれないが、今後もスタッフ会議で周知していきたい。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	3		2	見たことはないが、訓練はやっているのであると思う。できる限り施設に残れるマニュアルを検討してほしい。	会議や訓練は定期的に行い、また事業所には手に取って閲覧できるように掲示。個別質問には対応中。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1		2	訓練の日を画像付きでグループLINEでお知らせしてくれている。	3月と9月に地理的に想定される避難訓練を行い、その様子（要項と画像）をグループLINEで連絡。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			1	危険を全て避けるのではなく、どう対処するかを実践するのはすごい。	全日活動は動きが多くなるので、その分危険がつきもの。前日までに必ず連絡をするように意識している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	2		2	前にケガがあったとき、こちらがバニックにならないように十分に配慮して連絡してもらえた、ありがたかった。	なるべく速やかに動きつつ、状況や順序を把握できていない報告は混乱を生むので、今後も気をつけたい。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				いつも心の安定や安心をもらっている場所。	都合がいいことが安心ではなく、時に注意されて答えや意味を知る、その積み重ねだと思う。ありがたい言葉。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1			いつも笑顔で帰宅してくる。とても楽しみにしている。家よりゆうが好きだと思う。スタッフのことが大好き。	不穏なときも、不調のときも、楽しみに集まってくれる子どもたちのために存在していきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				いつもきめ細かく、子どもの支援方法を考え実行してくれる。ゆうがなかったら今の落ち着きはないと思う。	最もありがたい言葉。スタッフたちの子どもたちにかける想いが伝わっている証拠なので継続したい。